

かけいぼニュース

発行 家計簿・暮らし調査研究会
コープのホームページ

[www.ucoop.or.jp/hiroba/
report/kurashi/index.html](http://www.ucoop.or.jp/hiroba/report/kurashi/index.html)

45年間の家計簿活動の終わりに向けて

“今まで、この活動に関わってくださった人達から”

★中村喜美子さんから

家計簿はあくまで自己のため。自今の生計を記録し続けてこそと最初からの想いは変わりませんが、それが大勢の仲間とつながり、大きく全国運動となったことは、私の90年の人生にとって望外の喜びです。

★梶川三千枝さんから

人生100年になり、一人、二人世帯が50%を越えようとも、私の家計簿が私の暮らしの貴重なデータであるように、私たちの家計簿集計結果は、急激に変化する私たちの暮らしを写していたのに、それを十分に生かせなかったことが残念です。

お金の振り回されることなく、自分らしい暮らしを守ることを、みんなと一緒に考える場がなくなるのですね。

★有田芳子さんから

1994年から家計簿担当理事として県生協連に関わり、1996年から始まった日本生協連の「モニター登録制度」の推進にも関わりました。

家計簿の役割は無駄をなくし貯蓄を行うことですが、生協の家計簿では1週間の食費で栄養の偏りも分かるとして食生活改善にも活かしていました。素晴らしい家計簿活動の歴史を持つユーコープから活動の歴史が途絶えることは非常に残念です。現在の社会環境から判断すると、あらためて家計簿の必要性が出てきているようにも感じています。新しい形の家計簿を若い人たちが始めてくれることを願っています。

★茂木なほみさんから

世論を牽引し国政を動かした生協ならではの家計簿活動！全国に数ある生協の中で3桁の登録者数を誇り、節目の年には複眼的かつ鋭い分析の記録誌を発行！20～80代の交流会はいつも盛会！心より敬意と感謝を！



★木村郁子さんから

長い間家計簿委員、モニターの方々、本当にありがとうございました。消費税が3%、5%、8%となり、今度は10%になりそうです。私たちの暮らしは厳しくなりますね。今後も形は変わっても、主婦の声を出していきたいと思えます。

生計費調査にご協力いただいた皆様に感謝します。リーマンショックや震災時には、自由記述欄やニュースを通じて暮らしの知恵を多く共有できたことが印象的で、職員として暮らしに寄り添う大切さを学ばせていただきました。ありがとうございました。

(旧 家計簿担当職員 関山万里子)

1971年に“生協家計簿”が完成、翌年、活動が始まり、環境問題や携帯電話・パソコンなどの普及や消費税の導入、社会保障などの生活環境の変化から、収入・消費支出の変化を生計費調査や“家計簿ニュース”等で家計のやりくりの一助に協力をしてきました。このデータは、新聞やテレビなどマスコミにも取り上げられ、社会に向けて「声」も発信し、反映することもできました。個々の暮らしの見直しの手段としての最適なツール＝家計簿の取り組みがこれからも続いていくことを願い。今まで関わってきた多くの方々へ感謝申し上げるとともに、本当にありがとうございました。(前 家計簿担当職員 山田一広)